

【会合概要】

1. 日時：2008/12/5(金) 15:00-17:00
2. 場所：大林組東京本社 14F C-2 会議室  
東京都港区港南 2-15-2 品川インターシティ B 棟
3. 進行：市川(レスキューナウ)、高橋(インフォコム)
4. 議事録作成者：村上(ユニアデックス)
5. 出席者（以下15名：敬称略）  
市川(レスキューナウ)、副島(大林組)、高橋(インフォコム)、荒二井(日本気象)、  
野田(アジア航測)、橋元(清水建設)、松本(キューピー)、古藤(パスコ)、森島(SMC)、  
若林(イーアールエス)、河内(東根代理)(建設環境研究所)、土井(オリエンタルコンサルタント)、  
小原(NEC フィールドインギ)、森本(建設技術研究所)、村上(ユニアデックス)

6. 内容

○ 今後の進め方について

前回(10/24)の打合せ結果を含め今後の進め方について討議した。

■ 本分科会の前進組織で作成してきたレポートの説明

○ 「フロー図」:

災害発生から災害本部が立ち上がり復旧に向けてのフロー図

○ 「リスト」:

フロー図上で収集(インプット)情報、伝達(アウトプット)情報について整理したリスト

■ まとめ

「フロー図」は完成度が高いと判断、「リスト」については現時点では未完成の状況と考える。そのため、今後本研究会として内容の精査を行い、完成させ、BCAO 上位組織に審議いただき、正式文書にしていく。最終ゴール(Output)については現時点でまとめることはできないと判断、現在の「フロー図」と「リスト」をまとめいく。「リスト」をフロー図に変えていきたいとのリクエストがあった、次回よりその作成していく。各位から、皆様の興味は「Who、How」にあり、「When(時間軸)」についても重要な要素との意見があった。また、成功/失敗事例の紹介、苦労した事例など外部の方々などをお呼びしてお話を聞いて行きたい。また、地震は以外に新型インフルエンザなどについても議論をしたい。

■ 議論(途中経過)

- ・ 最終系はどのようなイメージか？
- ・ まずは、ゴールを先に決めるのではなく現状の(「フロー図」、「リスト」)物を元に議論を重ねたい。フローはある程度まとまっていると判断している。「リスト」について完成度を高めていきたい。各位に異論が無ければ、この考えで進めていきたい。
- ・ 「フロー図」、「リスト」を作成するキッカケとなったシンカイ氏作成の資料がある。(シンカイ氏作成資料5ページ)この資料と関連性を持たせて最終成果物をイメージすることができないか？
- ・ 新開氏作成資料と関連性をつけるためには、まずは「リスト」の精度を上げる必要があるのではないか？
- ・ 「フロー図」は完成度が高いと判断している。役割、情報、アクションリストについては、インプットについては洗い出しがされていると判断している。次の議論としては、どういう情報が、だれから、いつまでに収集することを進めてはいかが？
- ・ 「どういう情報が、だれから、いつまでに収集する」ことを進めてはいかが？ ただし、現在の「リスト」どのような情報が必要かを並べただけで、精査がされていない状況と判断している。まずは、「リスト」の精査をしたい。
- ・ 以前の分科会では、情報の収集を「What(どのような情報を)、Who(だれから)、When(いつまで)、How(どうやって)」というように分けて考えていた。
- ・ 成果物がどのように活用されるかを考えていきたい。
- ・ 個人的には、情報が取れないときにどのように情報を収集すれば良いのか？の部分で最

最終的に作成したい。

- BC においては時間軸が大切と考える。情報の収集に時間がかかったり、伝達に時間がかかったりする。個人的には、その部分をまとめていきたい。
- 各位のご意見をまとめるとまずは、What を先に確定させ、その後「When,Who,How」を整理していったらどうか？

■ 議論(各位の本分科会に参加した目的、本分科会に寄せる期待)

- 災害情報などを提供する会社としては、今回の整理により必要な情報が整理され、それらの情報を提供しているのが我が社であるような形で販売に結びつけばと考えている。
- 災害などの情報を整理することで、どのような情報を提供していけば良いかを整理する意味で参加している。
- 情報のインプット、アウトプットについて興味がある。
- 災害時に必要な情報に漏れが無いかの確認をした。情報を入手するための手段(入手できない場合の対策:代替)についても知りたい。
- 災害時に集めるべき情報は何かを知りたい。情報が取れない時の代替手段(ツール)などの種類などが知りたい。
- 実例としてどのような情報が取れなかったので困った点などを知りたい。
- 災害時になにが必要かの共通言語としての本日のお話での「What、Who」の整理をしたい。
- システム復旧させるため(保守活動)に必要な情報と収集方法。ユーザ様での被災状況を把握する、復旧状況の把握するための情報共有するための仕組みを知りたい(作りたい)。
- 手引きができればよいと考えている。
- 成功例、失敗例がほしい。最新の技術についても知りたい。情報の収集について入手できない場合の代替手段について知りたい。

## 7. 宿題

各位でリストの情報をポストイットに書き込む作業をお願いします。なお、次回に万一欠席をする場合は、なんらかの形で次回の打合せに提出してください。

<担当:ポストイット記入>

1-7: 小原 、 8-13: 橋元 、 14-21: 野田 、 22-27: 河内 (東根)  
28-35: 若林 、 37-50: 松本 、 40-44: 森島 、 45-49: 荒二井

<書き方>

- o ポストイットは 75mm x 75mm を使用のこと。
- o 記入は太めの水性ペン
- o input は ピンクのポストイットに記入
- o output は 黄色のポストイットに記入
- o アクション番号を右上に記入

<他>

模造紙を用意する：市川座長

## 8. 次回会合：日時&場所

日時： 2008/1/16(金)

場所： インフォコム様にて実施

-> 地図などは別途アナウンス。

## 9. その他

今後の打合せについては、毎月の第三、四金曜日を予定している。

以上